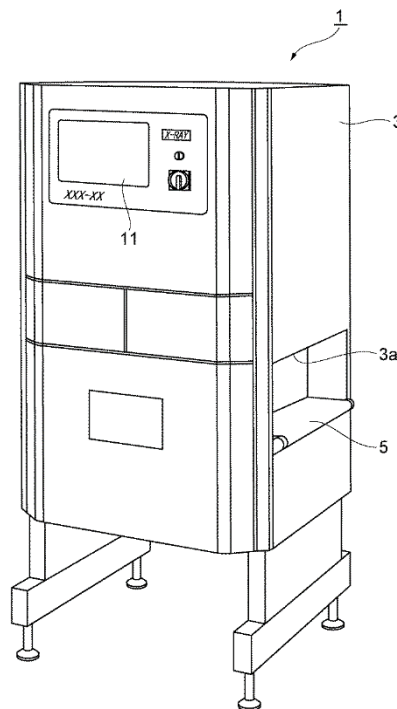


専門技術サービス

画像処理アルゴリズムを容易に設定可能な光検査装置

発明の名称	光検査装置及び光検査方法		
出願人/権利人	株式会社インダ	発明者	久保 拓右、岩井 厚司
出願日	平成28年9月20日	出願番号	2016-183281
公開番号	2018-48846	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



- 1…X線検査装置
(光検査装置)
3…シールドボックス
3a…開口部
5…コンベア
11…モニタ

発明の概要

画像処理アルゴリズムを容易に設定することが可能となる光検査装置及び光検査方法

特徴

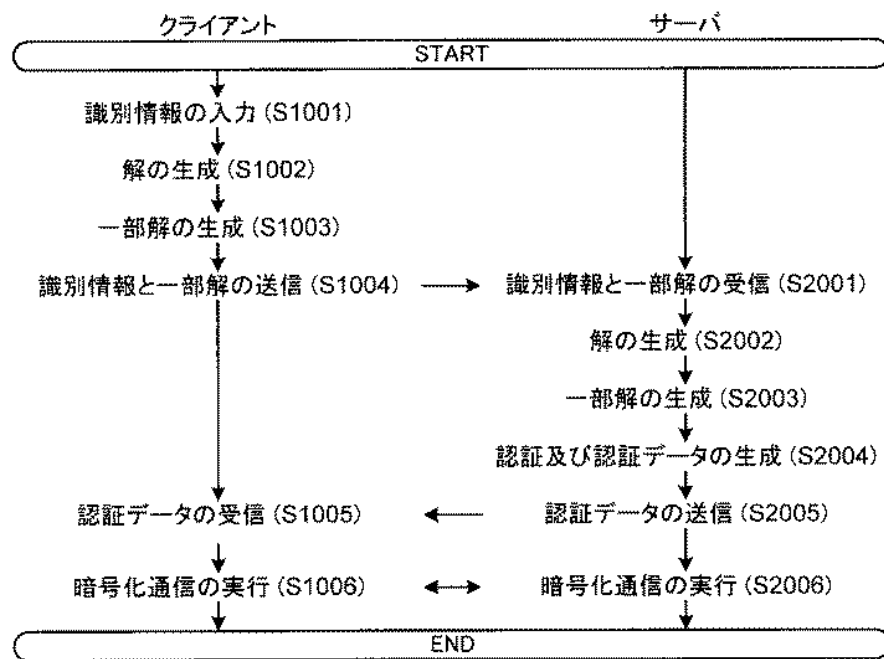
複数の良品処理画像における画素の明るさに関する情報に基づいて、記憶された複数の画像処理アルゴリズムの中から複数の画像処理アルゴリズム候補を選出する。これにより、記憶された複数の画像処理アルゴリズムの中から、有効である可能性が高い画像処理アルゴリズムを、画像処理アルゴリズム候補として簡便に選出できる。その結果、画像処理アルゴリズムの設定の際、記憶された複数の画像処理アルゴリズムの中から選択するのではなく、数が絞り込まれた画像処理アルゴリズム候補の中から選択することが可能となる。画像処理アルゴリズムを容易に設定することが可能となる。

関連分野

業務用機械、電気機械、医療・保健衛生

発明の名称	送受信システム、送信装置、受信装置、方法、コンピュータプログラム		
出願人/権利人	株式会社エヌティーアイ	発明者	中村 貴利
出願日	平成28年9月16日	出願番号	2016-182101
公開番号	2018-46521	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

一般的なワンタイムパスワードを用いた技術よりも、更に安全性の高い認証技術

特徴

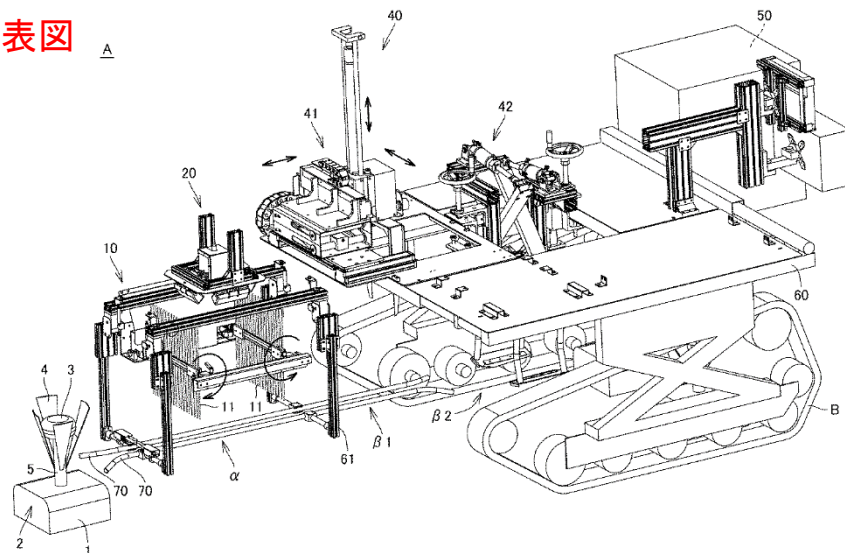
本発明はインターネットバンキングを利用する際に用いるワンタイムパスワードに関する。ワンタイムパスワードを発生させる際にユーザが用いるのはトークンである。クライアントとサーバはともに、同じ条件下では同じ解を生成する機能を持つ。クライアントは、20桁の英数字混じりの一つ目の解を作り、解の一部をある規則により抜き出した一部解を生成し、一部解をユーザIDである識別情報とともにサーバに送る。サーバはそれらを受信し、解を生成し、一部解を生成する。サーバで生成した一部解がクライアントから送られてきた一部解と一致したら、そのクライアントが正当なものと認証する。

業務用機械

収穫時期の外葉を有した野菜を判別し、自動で収穫する装置

発明の名称	野菜自動収穫装置		
出願人/権利人	株式会社マイコム	発明者	畝村 暢一、片山 哲郎、中田 健信、福島 亮、出羽 盛久
出願日	平成28年9月20日	出願番号	2016-182934
公開番号	2018-46752	特許番号	6218905
法的状態	登録中		

代表図



A 野菜自動収穫装置 B 台車 1 収穫畑 2 ブロッコリー 3 花蕾
 4 外葉 5 茎 10 外葉めくり機構部 11 平面ブラシ 20 撮影部
 40 収穫機構部 41 外葉カット機構部 42 茎カット機構部 50 制御部
 60 本体フレーム 61 吊り下げフレーム 70 ガイド部 α めくり位置
 β1 第1カット位置 β2 第2カット位置

発明の概要

ブロッコリーを代表例とする外葉を有した野菜を自動的に収穫する野菜自動収穫装置

特徴

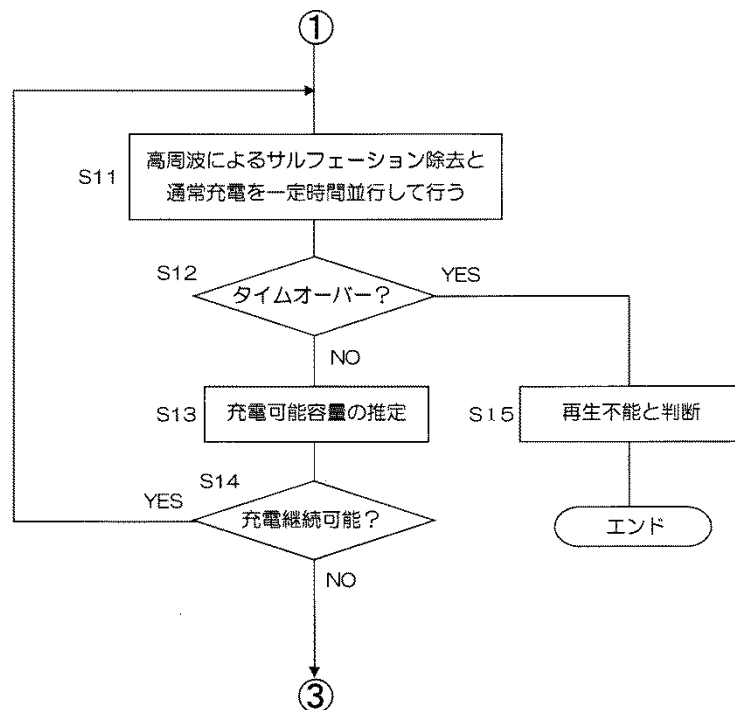
本発明の野菜自動収穫装置による場合、野菜の外葉をめくり、この状態の撮影画像により収穫するか否かを判定するため、外葉を有した野菜の収穫作業を容易かつ効率的に行うことが可能になる。特に生育上のバラツキが大きいブロッコリーについては大きな効果が見込まれ、収穫するには早いと判定されたものについてはカットせず元の状態に戻されることから、結果として栽培効率が上がる。また、外葉のめくり等の工程が野菜をカットすることなく収穫畑上で行われることから、野菜の位置決め保持機構が不要となり、この点で装置の機械的構成が簡単になるというメリットもある。

エネルギー

劣化した鉛蓄電池を短時間で再生させる装置

発明の名称	鉛蓄電池再生装置		
出願人/権利人	株式会社トーア紡コーポレーション 株式会社近計システム	発明者	堀口 泰夫、中村 崇、平野 二郎、大橋 善和
出願日	平成27年5月25日	出願番号	2016-543239
公開番号	WO2016/189630	特許番号	6298895
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

サルフェーションによる劣化が進んだ鉛蓄電池でも短時間で再生が可能な鉛蓄電池再生装置

特徴

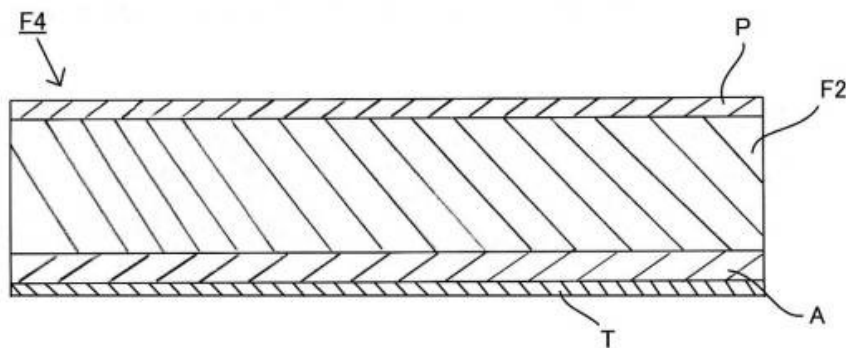
自動車などで使用される鉛蓄電池は放電したままの状態では長時間放置されると、電極板の表面に不導体の硫酸鉛が付着して結晶化する(サルフェーション現象と言われる)ことによって、充電機能を失ってゆく。本発明は、高電圧インパルスを加えることにより、サルフェーション層を部分的に深部から絶縁破壊させて充電電流の導通路を確保した後、高周波電圧(または低電圧パルス)を加えてサルフェーション層を表層から誘導加熱により溶解し、同時に充電して硫酸鉛を鉛に還元して行く方法を用いることにより、鉛蓄電池を短時間で再生させる技術である。

ケミカル

低コスト・部材の軽量化が可能な高強度炭素繊維樹脂テープ

発明の名称	高強度炭素繊維樹脂テープの製造方法及び高強度炭素繊維樹脂テープ		
出願人/権利人	株式会社ジャパンマテックス	発明者	塚本 勝朗、塚本 浩晃
出願日	平成29年8月2日	出願番号	2017-150307
公開番号	2018-34503	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



A 粘着剤 P 紫外線防止塗料 T 剥離紙テープ
F2 炭素繊維樹脂テープ F4 高強度炭素繊維樹脂テープ

発明の概要

塩ビパイプ、PPパイプの補強用などに使用可能な高強度炭素繊維樹脂テープの製造方法

特徴

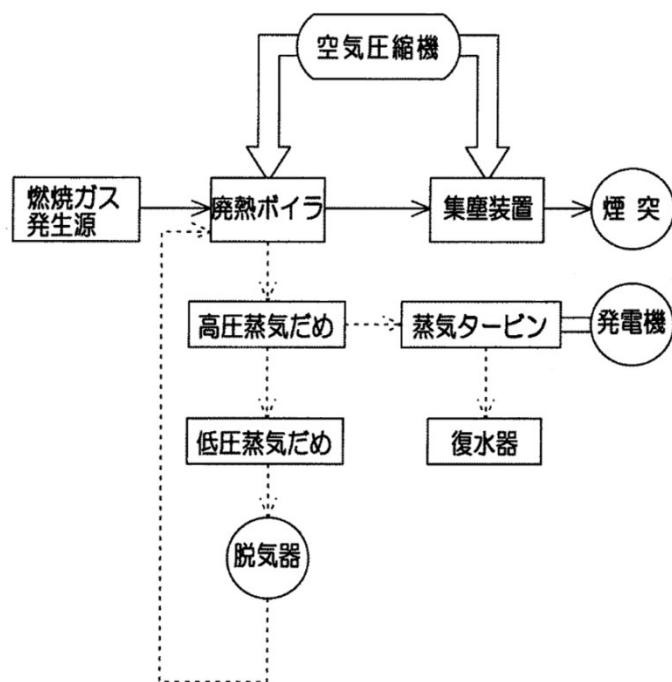
炭素繊維樹脂テープの積層体を加熱・加圧するためには金型が必要で、300℃以上の加熱が必要なため、コストが高くなる。本発明では、複数本の炭素繊維からなる炭素繊維束を負の酸化還元電位を有する還元水に浸漬して炭素繊維束を平らに広げる第一工程と、炭素繊維束を接着剤とアルミナゾルと過硫酸カリウムとを含む接着剤溶液に浸漬する第二工程と、炭素繊維束を乾燥させる第三工程を含む製造方法なので低コストで、金属材料に匹敵する強度・弾性率を有しながら、金属材料よりも比重が小さいため、部材の軽量化を図ることができ、発錆の問題も起こりにくい利点がある。

エネルギー

スートブロー中も発電量が低下しにくい廃棄物発電方法

発明の名称	廃棄物発電方法		
出願人/権利人	株式会社プランテック	発明者	大山 曜、増田 俊吾
出願日	平成28年9月12日	出願番号	2016-177999
公開番号	2018-44695	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

燃焼ガス発生源から発生したガスを熱源とする廃棄物発電方法

特徴

本発明は、スートブロー中の発電量低下を是正する廃棄物発電方法である。燃焼ガス発生源から発生したガスを熱源とする廃棄物発電において、集塵装置に配された濾布に付着した煤塵を逆洗するダスト払落し工程、及び、廃熱ボイラの水管表面に付着した煤塵を除去するスートブロー工程を、共通の空気圧縮機から発生させた圧縮空気によって実行する。この際、スートブロー工程において蒸気を使用しないため、エロージョン（水管の減肉）が生じ難くなる。本発明は特に小規模の焼却炉等の燃焼ガス発生源から発生したガスを熱源とする廃棄物発電に好適に用いられる。

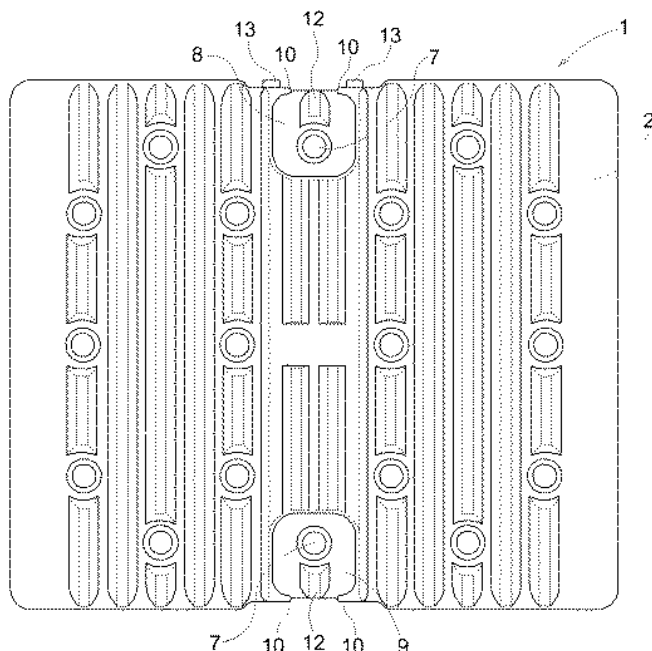
化学

低コストでフックを付けても揺れ幅の小さい蓄熱カプセル

発明の名称	蓄熱カプセル		
出願人/権利人	株式会社ヤノ技研	発明者	矢野 直達
出願日	平成28年9月13日	出願番号	2016-178807
公開番号	2018-44706	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図

- 1 蓄熱カプセル
- 2 カプセル容器本体
- 7 貫通孔
- 8 第1凹部
- 9 第2凹部
- 10 突出部
- 12 第3凹部
- 13 充填口



発明の概要

本体の厚みを増やしても、小径の市販のフックが使用出来る蓄熱カプセル

特徴

貫通孔にS字形のフックを挿通させて係止する際に、フックは安価な小径の曲線状の物でもよく、カプセル容器本体を吊下げて設置する場合のコストを低下させることができる。表面の横方向に、幅を狭める突出部を設けたことにより、フックを貫通孔に係止させてカプセル容器本体を吊下げた状態で、カプセル容器本体が横方向に振れた場合、幅を狭める突出部によって揺れ幅がより小さい幅に規制される。例えば温室などに設置されたカプセル容器本体に、温室での作業中に不測に接触してしまっても、カプセル容器本体が大きく振れて作物などを傷つける心配がない。